

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

TCPLink  
for  
Windows CE  
日本語5250エミュレータ  
バージョン5.01 リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「TCPLink for Windows CE 日本語5250エミュレータ」  
(Ver.4.02-01→Ver.5.01-01)において、下記のような改修を行いましたので  
お知らせいたします。

敬具

記

**[概要]**

- ・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

**[強化項目]**

以下の機能を強化しました。

**[システム全般]**

- ◎以下のOSに対応しました。
  - ・Microsoft Windows Embedded Handheld 6.5
  - ・Microsoft Windows Embedded Compact 7※日本語版のみの対応です。
- ◎以下のOSを動作対象から除きました。
  - ・Microsoft Windows Mobile 5.0 PocketPC Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows Mobile 5.0 PocketPC Premium Phone Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows Mobile 5.0 Smartphone Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows CE 4.0 日本語版
  - ・Microsoft Windows CE 4.1 日本語版
  - ・Microsoft Windows CE 4.2 日本語版
- ◎エミュレータの起動前、およびエミュレータの終了後に、任意のアプリケーションを実行できるようにしました。

**[ディスプレイセッション関連]**

- ◎ディスプレイセッション宛の印刷データをモバイルプリンタに出力できるようにしました。  
※特定のモバイルプリンタのみの対応です。
- ◎IBM i (AS/400)へ接続したときに、自動的にサインオンできるようにしました。

- ◎以下のイベントの発生時にビープ/バイブレート/LED 点灯させる機能をサポートしました。
  - ・キー押下 (打鍵音)
  - ・入力エラー
  - ・圏外通知
  - ・通信チェック表示 ※1
  - ・IBM i (AS/400)からのアラーム受信
  - ・IBM i (AS/400)からのエラーメッセージ受信※特定の機種のみ対応です。  
※1：通信チェック 906、930 のみ対応です。
  
- ◎クリップボード経由で読み込んだバーコードデータ中のコードを、あらかじめ設定されたコードまたは機能キーに変換できるようにしました。
  - ※1 バイトコードのみ対応です。
  - ※本機能用に以下の設定画面を追加したこととともない、クリップボード入力についての設定も同画面に移動しました。
    - ・ディスプレイセッション：ディスプレイ設定の [バーコード] タブ
    - ・管理ユーティリティ：ディスプレイ定義の [バーコード] タブ
  
- ◎カーソルがあるフィールドの属性によって入力方式を自動的に切り替えられるようにしました。
  - ・全角フィールドでは、「ひらがな」入力方式に切り替える
  - ・カタカナシフトフィールドでは、「半角カナ」入力方式に切り替える
  
- ◎入力フィールド外へのカーソルの移動を抑止できるようにしました。
  
- ◎画面上に記述された専用コマンドによって画面やフィールドの動作を制御できるようにしました。
  - ※特定の機種、特定の OS のみ対応です。
  - ※連結 QR コード、多段バーコードのような、データの連結または分離が必要なバーコードには対応していません。
  - ※ADD コマンドで付加できる機能キーは、エミュレータで使用できる機能キーの一部だけです。
  
- ◎以下の動作を行うエミュレータ機能キーをサポートしました。
  - ・UPF ボタンの実行
  - ・UPF キーパッドの表示/非表示の切り替え
  - ・機能キーパッドの表示/非表示の切り替え
  
- ◎機能キーパッド、および UPF キーパッドのボタンを大きくしました。  
また、ボタンの表示数を変更できるようにしました。
  - ※ボタンの表示数が多いと、ひとつひとつのボタンの横幅は狭くなります。
  
- ◎Write Error Code コマンドメッセージを表示するポップアップウィンドウをダイアログボックスに変更し、メッセージを大きく表示するようにしました。
  
- ◎無線通信が圏外から圏内に移ったときに、圏外メッセージを自動的に閉じるようにしました。

#### [エミュレータ管理関連]

- ◎管理ユーティリティの動作 OS を以下のようにしました。
  - ・Microsoft Windows XP Professional (SP3)
  - ・Microsoft Windows Vista Business (SP2)
  - ・Microsoft Windows Vista Enterprise (SP2)
  - ・Microsoft Windows Vista Ultimate (SP2)
  - ・Microsoft Windows Vista Business x64 Edition (SP2)
  - ・Microsoft Windows Vista Enterprise x64 Edition (SP2)
  - ・Microsoft Windows Vista Ultimate x64 Edition (SP2)
  - ・Microsoft Windows 7 Professional (SP1)
  - ・Microsoft Windows 7 Enterprise (SP1)
  - ・Microsoft Windows 7 Ultimate (SP1)
  - ・Microsoft Windows 7 Professional x64 Edition (SP1)
  - ・Microsoft Windows 7 Enterprise x64 Edition (SP1)
  - ・Microsoft Windows 7 Ultimate x64 Edition (SP1)※日本語版のみ対応です。

◎Microsoft Windows Mobile デバイス センターをサポートしました。

これにより、Microsoft Windows Vista ならびに Microsoft Windows 7 環境でも以下のことができるようになりました。

- ・管理ユーティリティでモバイルデバイス側の各種設定ファイルの操作
- ・モバイルデバイスへのセットアップ

◎管理ユーティリティのディスプレイ定義から「打鍵音」の設定を削除しました。

打鍵音を鳴らすには以下の設定で「キー押下（打鍵音）」を指定してください。

- ・ディスプレイセッション：ディスプレイ設定の [通知] タブの「イベント」

#### [マニュアル関連]

◎ガイドブックの印刷機能の説明部分を別冊化しました。

- ・『印刷機能 ユーザーズガイド』（PDF ファイル）

#### [改修項目]

以下の問題点を修正しました。

##### [ディスプレイセッション関連]

- ・マクロ再生中に新たにマクロが実行されると、アプリケーションエラーを発生することがある。

##### [パススルー印刷機能関連]

- ・印刷でエラーが発生しても否定応答を返さず、印刷中のままになる。
- ・8K バイトを超えるデータを受信すると、印刷中のままになることがある。

以 上